

会議名：コミュニティふらっと運営事業者意見交換会

開催日時：令和5年1月30日 午前10時30分～午後0時

場所：コミュニティふらっと東原 多目的室

出席者：運営事業者15名

	意見
1	コミュニティふらっとの設置目的について
	(1) 全ての世代の利用が進んでいるか
1	高齢者団体は、活動前後にラウンジを利用することが多い。
2	1人でゆうゆう館を利用していた方で、コミュニティふらっとのラウンジに来なくなった方もいるが、コロナ禍であることが理由なのか、マッサージ機がなくなったことが理由なのかわからない。
3	モーニングサロンを開くなど、高齢者が朝の時間に来館しやすいよう工夫していたが、コロナ禍ということもあり、あまり効果が出なかった。
4	もともとゆうゆう館だったということもあり、当初は高齢者以外の世代に来館してもらうことに注力していた。
5	高校生の利用はあまり進んでいないように思う。
6	コミュニティふらっとの開設後に、新しくできた高齢者団体もある。
7	ラウンジでは、一人で読書をしたり、パソコンを使ったりする方などがおり、また、幅広い世代の方に利用されている。障がい者や、高齢者の作品を展示していると、それを見に来る人もいる。
8	児童館を転用したこともあり、乳幼児や子どもの利用が多い。今後、高齢者の利用も増えるよう工夫していきたい。
9	ゆうゆう館でマッサージ機を利用していた人は、コミュニティふらっとになってからは、来ていないように見受けられる。
10	学習コーナーを毎日のように使っている人がいる。
11	60代以上と言ってもその幅は広いため、現時点では、歩いて施設に来られる地域の高齢者、自立している高齢者をターゲットにし、利用を促している。
12	高齢者がラウンジを利用しやすいように、ゆうゆう館を運営しているノウハウを生かしながら、利用者への声掛けなどを行っている。
13	サラリーマン、高齢者が一人でラウンジのカウンターを利用している事例がある。
14	当施設ではカウンターの席数も多く、「個」になりやすい環境がある。
15	乳幼児親子向けのスペースがもう少しあるとよい。
	(2) 多世代の交流が進んでいるか
1	子ども・子育てプラザで働いていた職員の助けもあり、もともと児童館でやっていた事業をコミュニティふらっとでも継承できた。
2	ボランティアを積極的にお願いしたというよりも、保護者など利用者の話を聞きながら対応する中で、自然に協力が得られたと認識している。
3	多世代交流は、事業者主体でやるというよりも、地域の団体の力も借りることで、自然発生的に生じるものだと思う。

4	コミュニティふらっとの活動団体に声をかけ、高齢者が小学生に折り紙を教える場を設けたことにより、交流が実現した事例がある。
5	多世代交流は進んでいると思うが、工夫が必要だと感じる。多世代交流イベントに来る人は、一人ではなく友人と来る人が多いため、その場で他の世代と交流するというのは簡単ではない。ただ、顔見知りにはなれるので、結果として日々の交流につながっていくものだと思う。イベントのみにより多世代交流を促進するというのではなく、日々の運用も含めて考えていく必要がある。
6	他の団体（例えばケア24など）と連携することでも、多世代交流の幅は広がると思う。
(3) 施設の特徴などを踏まえた運営上の創意工夫について	
1	小学生が施設に入りやすいように、テーマを決めて施設の壁面を飾り付けている。折り紙を置いて、子どもが自分で壁を飾り付けできるようにするなどの取組も行っている。
2	道路側の壁がガラスになっており、中の様子が外から見えるため、中の雰囲気大切にしている。コミュニティふらっとのイメージは、徐々に浸透してきていると思う。
3	コミュニティふらっとと地域区民センター等との違いは、前者の方が高齢者との関わりが強い点だと思う。
4	コミュニティふらっとは地域区民センター等よりも身近な交流がしやすい。地域でつくっていき、アットホームな施設である。そのような点は、もっと周知していけると良いと思う。
2 ゆうゆう館の機能継承について	
1	ゆうゆう館からコミュニティふらっとになったときに、施設も職員も変わらなかったため、利用者の違和感も比較的少なかったと思う。
2	利用者の考え方が変わったことについて、当初は要望があったものの、説明している中で、納得を得られていると認識している。
3	ゆうゆう館の全てを継承できているわけではないが、比較的スムーズに移行できたと感じている。
4	ゆうゆう館からコミュニティふらっとに移行してきた際に、ゆうゆう館との違いに等に関する要望もあったが、利用者との顔見知りになって、一つひとつ丁寧に対応したことで解決できている部分があると思う。
5	ゆうゆう館のスロープは、高齢者にとっては上りにくいようなので、エレベーターがあることで施設が使いやすくなっていると思う。
6	コミュニティふらっとは新しい施設であるため、ハード面では使いやすいと思う。
7	施設が土足利用であること、和室がないこと等、意見を言われることがあるため、新しく施設を作る場合には、利用者からよく聞き取りをした方がよいと思う。
8	ゆうゆう館の備品や運用をどこまで引継ぐかを検討する際は、コミュニティふらっとが多世代型施設であること念頭に考える必要があると思う。
3 コミュニティふらっとの良いところ、改善すべきところ	
1	エレベーターがないため2階の利用を避ける方もいる。
2	高齢者専用施設ではなくなったことで、多くの一般利用者が利用できるようになった。効率よく施設を活用できていると感じる。
3	ゆうゆう館からコミュニティふらっとに変わったことで、最初は身構えていたが、使っていくうちに満足していただけるようになってきていると感じる。
4	コミュニティふらっとになり高齢者以外の一般利用者が増えた。
5	ゆうゆう館時代は、協働事業をやっても「高齢者向けのイベント」と思われ、参加することに抵抗がある人が多かったが、コミュニティふらっとになったことで、その抵抗感がなくなったと思う。

4 高齢者団体優先枠について	
1	ゆうゆう館と異なり、コミュニティふらっとにおいては、直前に高齢者団体優先枠の空き枠の予約ができない。このことについて意見を言われることがあるが、そこは丁寧に説明するようにしている。
2	希望が重複する場合もあるが、空き枠で十分対応できていると感じる。
3	月8枠使っている団体は数団体程度。
4	コミュニティふらっとのコンセプトが誰でも使える施設なのであれば、高齢者だけでなく他の世代が利用したい時間・部屋も確保する、という考えもあるのではないか。

会議名：コミュニティふらっと4施設利用者（一般利用者）意見交換会

開催日時：令和5年5月28日 午前9時30分～午前11時

場所：杉並区役所本庁舎 中棟6階 第4会議室

出席者：施設利用者19名

	意見
1	区民集会所、ゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編について
1	コミュニティふらっと東原の整備に当たり、児童館が無くなったことは重大なことだ。意見交換テーマに「区民集会所、ゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編について」と書かれており、「等」でまとめるのは納得できない。
2	コミュニティふらっとがどう使われているのかわからず、講座を開催している際に立ち寄る程度だ。一方、児童館はふらっと行って遊ぶことができるし、勉強もできる環境だ。児童館機能が引き継がれておらず、消滅してしまっている。
3	東原は児童館がコミュニティふらっとに移行した特殊なケースだ。児童館がなくなって児童は辛い思いをしている。やっぱり児童館が良かったという声を聞く。
4	「施設をどのように使うか」は行政が決めるべきではない。利用者目線で使いやすい施設をつくるべき。
5	利用者としては、それぞれの集会施設（区民集会所、地域区民センター、コミュニティふらっと、ゆうゆう館等）の違い、位置づけがわからない。そのため、どの施設なら自分の望む活動ができるのか、利用する前から不安になる。名前を統一した方がよいのではないか。
6	集会施設の「種類」は増えているが「総数」は減っているので使いにくくなっているのではないか。
7	児童館のような専門性の高い施設を集会施設に集約する必要があるのか。
8	社会・生活が変化している中で、周りに相談でき、コミュニケーションがとれる場は必要である。そのような場を増やすべきで、減らす考えではいけない。
9	社会・生活が変わる中で、コミュニケーションの必要性はますます高まっていく。地域で色々な問題を話し合う必要があるため、そのための集まる場所、施設は減らすのではなく増やすべきである。
10	配布資料には「コミュニティふらっとの整備を進めている」と記載があるが、見直しはされないのか。この間区民の意見を聞いて、計画がどのように変わったのかはしっかりと周知してほしい。
11	小・中学生の保護者にとって、東原児童館がなくなったのはショックなことではあったが、施設を有効活用しようという思いでコミュニティふらっと東原を利用している。だが、いまだにコミュニティふらっとの特色というものを理解できていない。児童館を廃止する際の説明では、これまで施設を利用してきた人が、同じように利用することができる、という話であったが、できていないと思う。様々な目的がくっついてしまっているのがコミュニティふらっとである。場所を確保するだけでなく、内容を充実させることが大切。コミュニティふらっとが機能をしっかりと果たすには、人的資源、予算、区の関わりを充実させる必要がある。

2 コミュニティふらっとの現状と課題について	
1	コミュニティふらっと馬橋の建物はとても綺麗で良いが、施設を使ってよいものかどうか分かりにくい。周知が不足しているのではないかな。
2	外観はよくても中で何をしているのかが見えない。ふらっと立ち寄れる場所になっていない。
3	建物の設えや雰囲気立ち寄りづらさに繋がっているのかもしれない。
4	(中高生や20歳代、30歳代を対象に地域活動をしている者だが) コミュニティふらっとという名称も外観からも機能が分からず、使いにくさを感じたことがあった。
5	区は「ゆうゆう館は廃止になってもコミュニティふらっとが使えます」という。ゆうゆう館、児童館が廃止になっても、利用率や部屋数から「収まります」と説明するが、コミュニティふらっとができることで、どんな良いことがあるのかが説明できていない。それが原因で「今のままでよい」と思われているのではないかな。
6	コミュニティふらっとができることで地域が活性化するというイメージが浮かばない。
7	コミュニティふらっとでは、集会室内での食事できるなど利用の用途を広げてほしい。
8	杉並区のほとんどの施設では、演劇が締め出されている印象がある。防音設備があまりない。使用料を引き下げてほしい。
9	杉並区では使用料が高いため引き下げを希望する。
10	利用しているコミュニティふらっとでは、一日中、子ども達を使うことが多い。高齢者も利用できるように運営を見直ししていただきたい。
11	設計の段階から車椅子の方等を含めて利用者の意見を反映できるような仕組みをつくってほしい。
12	行政は利用者のニーズをどうとらえるか。という視点を大切にしてほしい。
13	団体人数に対してコミュニティふらっとの部屋が小さいため、全員参加が出来ない。
14	ラウンジが受付から死角となっており、安全上心配である。
15	多世代交流をコミュニティふらっとで実施するというが、そもそも多世代が集えるほど大きな施設ではない。
16	駅から近く、区民センターよりも安価に利用できるため、ありがたく利用している。
17	多世代交流は無いよりもあった方が良いが、コミュニティふらっとにそこまで求めてはいない。
18	世代により利用時間帯は異なるため、世代間の交流は難しいと思う。
19	夜間は利用率が低い施設もあり、非常にもったいない。
20	防音機能を備えた施設にするなどして、静かに勉強をできるスペースを作ってほしい。
21	夜間は集会室の利用率も低いいため、中高生の学習室として開放してはどうか。
22	コミュニティふらっとの周知・説明が足りていない。利用者が使い方を理解していない。
23	誰でも使える施設をつくる、という考え方自体は悪くないが、貸室を借りるだけではコミュニティは作られない。多世代を交流させたいのであれば、しかけが必要である。
24	地域の団体の力を借りて、イベントを考えてみるとよい。
25	地域によってニーズが異なるため、地域の特徴を生かせる施設をつくってほしい。
26	あくまでもコミュニティふらっとは区の施設であるため、事業者には運営を任せきりにするのではなく、区がしっかり介入すべきである。
27	コミュニティふらっと永福は成功例だと思う。その例を掘り下げて、今後どのような施設をつくるか考えるべき。利用者がなぜ永福を利用しているのか、そこにヒントがあると思う。

28	<p>コミュニティふらっとを子ども会で使っているが、子どもが使うにしては値段が高い。たまたまコミュニティふらっと東原は、運営事業者の協力があってイベントなどができているが、日常的に子どもが使うというのは難しい。逆に、東原児童館がコミュニティふらっとになってから日曜日でも利用できるようになったという、良い点もある。一概に全てが悪いということではないと思う。</p>
29	<p>10代～20代のまちづくり地域活動をしている。杉並が地元ではないので、最初どのように地域に入ればいいのか分からなかった。例えばコミュニティふらっとに、地域と繋げてくれる人を置くなど、地域コミュニティの入口になればよいと思う。施設利用だけでなく、地域活動をしている人たちの拠点、活動の場になるとよいのではないか。</p>

会議名：コミュニティふらっと4施設利用者（高齢者団体）意見交換会

開催日時：令和5年5月28日午後1時～午後2時30分

場所：杉並区役所本庁舎 中棟6階 第4会議室

出席者：施設利用者40名

	意見
1	区民集会所、ゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編について
1	区民集会所とコミュニティふらっとの運営の区分けがよく分からない。
2	利用時に身分証の提示が必要であったりと、本人確認資料の取り扱いについては、不安がある。
3	場所も変わり遠方で通えなくなる懸念もあり、統合によって施設が減る点については反対である。
4	コミュニティふらっとの多世代の利用促進は賛成である。
5	ゆうゆう館は元々高齢者向け施設であり、夜間の利用率を統合理由とするのはおかしい。
6	コミュニティふらっとになるまでは、どうなるのか不安であった。手続きなどが変更になる等困惑していたが、今では慣れてきた。
7	コミュニティふらっとを開設する際は、少し遠くなることに懸念があったが慣れた。
8	再編にあたって、1施設当たりの経費はどのくらいか。再編後の効果はどうなったか。定量的なものが欲しい。なければ判断できない。アンケート調査は利用者が好意的に書いているから参考にならない。
9	建物に関しては新しくなって綺麗で安心して利用できる。
10	子どもたちや家族ぐるみで利用ができて、見ていだけでコミュニティが一つになっている感じがする。
11	衣服が汚れたり、運動して汗をかいたりしたときのため、狭くても良いから着替えができる場所（更衣室）があると利用しやすい。
12	ゆうゆう館では踊りで利用していた。人数の関係で一枠の利用だと手狭である。（月4回活動したいので1室のみ予約しているが、できれば2室一体の室場を月4回利用したい。高齢者団体優先枠のコマを増やせるようなら増やしてほしい。）窓開けの制限があるようで換気ができない。いちいち入口の扉を開けて換気をしている。隣室との一体利用ができると広く使えてよい。建物の設計上、上に保育園をつけないといけないのか。
13	踊りで利用しているが、1・2集会室の片方には壁面に鏡があるので、1回の活動で2コマ（2部屋）使えるとありがたい。
14	受付の方が高齢者に対していろいろと面倒を見てもらえて助かる。だいぶ慣れてきたが事務手続きが不安である。1年ごとの更新手続きは煩雑。
15	踊りで利用している。毎回、空き枠も利用している。高齢者の一枠だと狭いので毎月空き枠をとっている。毎回空き枠を使うのは確実なので、空き枠も柔軟に利用できると助かる。
16	ゆうゆう浜田山館を体操で利用していたが、コミュニティふらっとの部屋の広さは半分以下になっている。隣の人と手足がぶつかる。参加人数を増やすと危ない。空き枠を含めた利用枠について現状に即した対応をお願いしたい。 正直使いづらい点はある。ゆうゆう館に比べてきれいで快適に使えるのも事実だが、今後、より臨機応変に対応いただけるとありがたい。
17	再編対象になっている施設が分かりにくい。地域区民センターも対象なのか。
18	そもそもゆうゆう館は高齢者が元気であるための施設だったので、高齢者が使いやすいような施設をつくってほしい。高齢者が元気であることで、介護保険料が減ったりと、良い影響があると思う。

2 ゆうゆう館の機能継承について	
1	他のゆうゆう館利用者からの意見もたくさん聞く場があった方が良い。
2	ゆうゆう館からコミュニティふらっとに移行する際に「使いにくくなる」「制限が厳しくなるのでは」といった漠然とした不安はあったが、いざ、コミュニティふらっとに移行して活動してみると不安はなくなった。
3	ゆうゆう館時代は、ふらっと立ち寄ろうかなという気持ちになったが、コミュニティふらっとはそうではない。道で知人と会った際におしゃべりしたいと思ったときに、部屋が簡単に取れるので、立ち寄るきっかけとなった。給茶機やマッサージ機もあるので少し休みにいこうかなと思うこともあった。
4	現コミュニティふらっと施設においては、今回のような説明会も開催されず、施設の違いが分からなかった。
5	不便を感じておらず、そのまま利用できている。
6	ゆうゆう館は以前、くつを脱いで入館して、よく踊りをしていた。コミュニティふらっとでは踊りをする場所が少ない。
7	舞台がほしい。
8	ゆうゆう館のときのような利用カードを個々に提示する必要がなくなったが、窓口で名前を伝えなければならぬ。一長一短がある。
9	利用枠を取るために、室場を予約する担当者は責任を感じてプレッシャーになってしまう。
10	空き枠コマの利用について、柔軟に対応してほしい。
11	高井戸西のエリアから電車、バスを乗り継いできている人もいる。距離が遠くなって通えないので、やめてしまった人もいる。いい内容（体操）なので、一生懸命通わなければという人もいて、9割程度は続けているが、施設が遠くなってしまふことが一番の不安。ゆうゆう浜田山館と比べると駅からも遠くなった。
12	（健康体操、自彊術の利用者）ゆうゆう館は木の床だったが、ここはコンクリートの床にヨガマットを敷いて利用している。床の硬さが問題。高齢者も使うことを考慮して、床の材質の柔軟性についても利用者の声を聴いて計画に加味してほしい。
13	施設の運営の仕方が変わってしまい、慣れるのに時間がかかる。ゆうゆう館は、自宅に帰ったような温かい対応だった。今は事務的でちょっと違う雰囲気だ。
14	代表者が登録カードを見せないと、他の人は部屋に入れない。代表者が早く行かなければというプレッシャーがある。
15	ゆうゆう館は、春夏は風が入り、冬は暖かい日差しが入って気持ちよかった。こちらは建物の事情もあってか窓を開けられない。
16	高齢者が使えない枠ができたため、予約がとりにくくなった。
17	給茶機がなくなってしまった。
18	ゆうゆう館では、空いている部屋があれば直前でも予約ができた。コミュニティふらっとも、高齢者団体優先枠以外の枠でも、空いているのであれば使えるようにしてほしい。高齢者団体優先枠以外の枠がどのくらい利用されているか、しっかり検証した上で見直してほしい。無料での利用が難しいとしても、利用料を減額するなどの対応はできないのか。
3 コミュニティふらっとの現状と課題について	
1	ゆうゆう館と比べて、HP等でのPRが少ない。ゆうゆう館ではHPから各館の予定表が全て閲覧可能であったが、コミュニティふらっとのHPではそのような情報を得られない。多世代型施設として若い世代の利用も想定するのであれば、一層HP等でのPRを行うべきである。
2	多世代交流という割に、交流につながる施策が少ない。交流を促進する方法として、例えば、団体活動で囲碁をしている高齢者が、若い世代に囲碁を教える場をつくるとよいのではないのか。

3	杉並区は他の自治体と比較して、施設使用料が高い。また、部屋の規模が活動規模よりも大きいため、高額な利用料を支払わざるを得ない状況にある。そのため、現在は地域区民センターなど安価に利用できる施設（部屋の大きさが小さいため使用料が安価）に出向いて活動している。多世代を推し進めるのであれば、全世代が無料で使用できるようにし、一緒に活動しやすい環境を整備するべきである。
4	コミュニティふらっと阿佐谷はエレベーターがないため、2階の集会室を使用することが困難である。
5	ゆうゆう館では色々融通が利いていた部分もあったが、コミュニティふらっとでは事務的なところがある。
6	団体の代表者は抽選会の度にメンバー全員の身分証を集めるため、非常に責任が重く大変である。更新の期間を長くしたり、継続メンバーであれば身分証等の書類確認を免除されるようにしてほしい。
7	現在高齢者は施設を無料で使用できるが、その他の区民は有料であるため、若い世代と活動する際には料金がかかる。団体の構成員に占める60歳以上の区民の割合が8割を下回った場合有料で活動しなければならない。全世代が無料で利用可能になれば、交流はさらに広がるだろう。当会では60歳未満の構成員が増加したため、団体を二つに分けて（60歳以上メイン、60歳未満メイン）活動している。
8	団体活動でコミュニティふらっとを利用している人は、多世代交流をすることは難しい。
9	活動の時間帯が世代によって異なるため、一緒にイベントをすることは難しいが、同じ施設を多世代が利用しているということだけでも、施設の雰囲気が変わって良いと思う。
10	多世代交流の講座を企画してもPRしなければ意味がない。講座の中身の充実も重要であるが、それに先立ち、PRはすぐにでも力を入れるべき。
11	ライフスタイルが世代により異なるため、多世代交流は難しいと思う。多世代交流を無理に推し進めるというよりは、日常生活が忙しい若い世代のニーズがどこにあるかを把握し、そのニーズに合った環境を整備するべきである。
12	コミュニティふらっとでは登録メンバーしか団体活動に参加できないが、私の団体は活動内容の特性上、単発での参加者が多数いる。現状、その度に登録作業を行わなければならないため不便である。
13	利用の手続きが大変である。何度も足を運んでいるが、それら手続きに意味があるとは思えない。
14	ラウンジをゆっくり利用している人はあまり見られない。活動の前後で談笑している人がいる程度である。
15	ふらっと利用したい時は、ラウンジを活用してくださいとのことだが、受付さんの目もあり利用しづらい面もある。
16	受付とラウンジの間に、観葉植物などによる目隠しの設置などの工夫をしてみたらどうか。
17	コミュニティふらっと阿佐谷など受付を通らずに2階に上がってしまうので、安全面での対応策を考えたほうが良いのではないか。
18	多世代交流という再編の考え方には賛成であるが、その前提として、住宅施策との連携が大事だと考える。高円寺・馬橋地区については、街の建替により1Rマンションが増加し、ファミリー向けの住宅が減ったことに伴い、子どもが減ってきている。子育て世代が生活できるようなまちづくりをすることが重要。
19	多世代に使って欲しいということであれば、Wi-Fiの設備は必要。若年だけでなく幅広い年代が必要としている。
20	グループで実施している活動についても、コミュニティふらっとの中で周知してもらい、多世代交流イベントへの出演や新たな会員の確保に繋がると良い。
21	コミュニティふらっとを利用するにあたっての団体登録や利用方法が難しい。初めての人にわかりやすいマニュアルなどがあると良い。
22	当日でもその場で空き部屋の有効活用ができると良い。

23	登録要件に「構成員の8割が60歳以上の区民である団体」とあるが、メンバーに引越し等があるとこれを維持することが難しい。区境に住んでいる他区の住民も登録要件に加えてはもらえないか。図書館などは、隣接する区民も利用者として受け入れてくれる。
24	コピー機の使用禁止をはじめ、施設が変わりサービスの低下を感じた。
25	受付を通らなくても2階にアクセスできたり、ラウンジ利用ができることからセキュリティ上不安である。
26	セキュリティ対策を重視しすぎると、ふらっと寄りづらくなるというデメリットもある。
27	代表者が保管している利用者証を受付職員へ提示しないとコミュニティふらっとは利用できない。不便である。運用を見直していただきたい。
28	利用者証をつくるのに代表者が会員の保険証等を集めなければならない。個人情報のため、漏洩や紛失が大変心配である。プレッシャーを感じる。運用を見直していただきたい。
29	コミュニティふらっと成田を利用しているが、受付職員の対応がすばらしい。施設も新しく、気持ちよく利用ができている。
30	当日、使われていない部屋は利用できるなど運用を見直ししていただけないか。
31	コミュニティふらっとの目的は多世代交流ということであり、イベント時には、多世代が交流している状況は見受けられるが、日常では見たことがない。交流する場面を増やす仕掛けやPRをもっと工夫する必要があるのではないか。
32	窓を閉めていても近隣に音が漏れているか心配しながら利用をしている。安心して気兼ねなく声出しができるように防音設備を整える等施設に工夫を凝らしてほしい。
33	利用時間前に代表者の利用カードがないと利用できない（入れない）のは、簡素化するなど見直しを図っていただけないか。
34	受付窓口が利用者の動線上にないと、不審者の入館や一般利用者とのコミュニケーションが不足してしまう。設計の段階から利用者の声が反映できるようにしていただきたい。
35	利用日当日、集会室が空いていれば、利用できる等運用を見直ししていただけないか。
36	他のグループとの接点はない。区が求めている目標には到達できてないと思う。
37	今まで、建物自体がふらっと入れる雰囲気ではないような気がした。最近は、おもてに花を飾ったり事業の案内を出したりして、イメージが良くなってきている。館内も、事業の内容や空室の情報も工夫されている。事業者さんも親切で、利用しやすい。
38	子どもたちは交流できている。私たちは、利用時間帯が決まっているので、利用時間帯が違くと他のグループとの接点ができない。
39	ラウンジを地域の人たちの集合場所として活用している。
40	コピー機も入れていただいて助かっている。
41	高齢者団体優先枠で使用している1・2・3集会室には椅子と机が置いてあり、ダンスや体操などで利用する場合、いちいち片づけなければいけない。邪魔にもなるので、倉庫に収納できると、広いスペースが使えてよい。
42	去年の4月には文句を言っていたメンバーもいたが、受付の方に親切丁寧に対応していただき、今は満足している。
43	このような意見交換の場を設けてもらえて、たいへんありがたい。
44	ゆうゆう阿佐谷館時代は、抽選を区役所でやっていたが、コミュニティふらっとになってからは、施設で抽選できるようになったのが良い点。
45	年2回の抽選、毎月の空き枠申込が大変であるため、使用申請の手続きを簡略化してほしい。（一方、抽選を年1回にすると、抽選漏れした場合、長期間利用できない可能性もあるため、デメリットもある。）
46	健康麻雀の道具を預かってもらいたい。囲碁、将棋などは所有している施設が多いので、麻雀も同じように施設に備え付けてもよいのではないか。
47	多世代が使える施設なのはいいことだが、子どもが施設を利用しているのはイベントのとき以外あまり見ない。

48	コミュニティふらっと阿佐谷にはエレベーターがないため、高齢者は2階を利用できない。設計上可能であればエレベーターを設置してほしい。
49	ダンスの団体に所属しているが、音を出して活動できる部屋が会議、裁縫などの団体に使われているため、活動できないときがある。部屋の利用種目に合った活動をする団体を優先的に割り当てるなどの対応はできないか。（そもそも施設全体の利用率が高いため、優先種目を設定してしまうと、余計部屋がとれなくなる、との意見もあり）
50	コミュニティふらっとでは主に個々での活動をしているため、あまり他の世代との交流はしたことがない。
51	多世代交流イベントには参加したことがない。
52	あまり積極的に他の世代との交流は望んでいない。
4	その他
1	(多世代交流) 年に2回のイベントを若い人と一緒にやることで交流が可。
2	講習会の講師を地域住民に頼むことで地域のコミュニケーションが可。

会議名：コミュニティふらっと永福利用者意見交換会

開催日時：令和5年6月30日 午後1時30分～午後3時

場所：コミュニティふらっと永福 第1・2・3集会室

出席者：施設利用者14名

	意見
1	区民集会所、ゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編について
1	施設を失くすときは反対の声も多くあると思うが、長期的に見れば再編は必要なことだと思う。区は再編の具体的な考えを周知して、利用者の意見を吸い上げることが必要。
2	施設によって利用のしやすさにばらつきがある。最新の設備がある施設や交通の便が良い施設は人気で利用率が高いが、その逆もまたしかりである。古い施設、交通の便の悪い施設のあり方（どのように利用者に使ってもらおうか）を考える必要がある。
3	コミュニティふらっととその他の施設の制度（申込時期など）がなぜ異なるのか、基準がよく分からない。コミュニティふらっとの申込方法は複雑である。
4	ゆうゆう館の夜間の利用者が少ないとのことだが、なぜ少なくなるか理由は分かっているのか。
5	一つの施設を色々な人が時間毎、用途毎に効率的に使うことができるという考え方はよい。
6	施設を集約することで、地域の施設の数が少なくなってしまうのは困る。
7	利用者の利便性は大切なことだと思うが、長期的に区政を考えると、全てを今までどおりにすることが難しいことは理解できる。
8	必要性を踏まえて再編整備は仕方がないと思うが、メリハリ、一定の基準は必要。今まで施設を利用してきた方の権利もわかるので、そうした人の意見も聴きながらみんなで決めていくのが良い。
9	限られた財源の中で、全ての人の希望を叶えるのは難しいと思う。
10	集会施設は、多くの人に使ってもらうことが目的であるため、施設の再編は進めつつも、利用者が施設を使いやすいような工夫をすべき。
11	ゆうゆう館は完全になくなってしまうのか。コミュニティふらっとでは、高齢者と若者の交流をどのように進めていくのか。
12	自治会とコミュニティふらっと永福の受託事業者で連携して、イベントの周知を行っている。今後も何かあれば、自治会として周知等に協力することはできる。
13	複合施設の特徴を生かし、色々な目的の人がきて、利用することができるのと良い。
14	ゆうゆう浜田山館が無くなったと聞いている。もっと高齢になった際は利用してみたかったが残念。（実際にどのような場所か、どんな活動ができるのかは知らないとの事で具体的な意見は無）
15	時代が変わっているので、施設も今まで通りとはいかない。何か手を打つ必要がある。
16	公共施設の見直しはパンドラの箱を開けるようなもの。様々な意見が出るのは当然で、そこに取り組みもうとしている杉並区の姿勢は評価できる。
17	ラウンジで軽食が取れるのは、他の施設にはない取組み。とても助かっている。
18	ラウンジは隣で何をやっているか見えているので、お互いに配慮する気持ちが生まれるので良いと思う。
19	ハコを作るだけで多世代交流が実現できるとは思わない。同じ施設の利用者というだけでは繋がりも生まれにくい。仕掛けや工夫が必要ではないか。
20	ゆうゆう館や区民集会所は、古くから使ってる人が多いイメージで入りづらい。コミュニティふらっとは比較的オープンなイメージがあり、入りやすかった。
21	色々な講座をやっているようだが、情報を得る機会が少なく自分のところまで入ってこない。

22	自分たちの団体も活動紹介の掲示をしてもらっているが、問い合わせが来たことはない。掲示場所がかなり奥まっているので、もう少し人目に付く場所に掲示して欲しい。
23	自宅で勉強会をしていたが、図書館への来訪をきっかけにして、コミュニティふらっとを知った。
24	永福一丁目のゆうゆう館でも活動しているが、一部のメンバーは足が悪いため、コミュニティふらっとまでは来ることができない。
25	楽器練習室は2カ月前に先着順での予約のため大変だ。操作を少し間違っただけで予約が取れないこともある。
26	多世代交流イベントで活動を発表する場があれば参加したい。
27	多世代交流について、年配の人の中には、個性が強くてこだわりのある方もいるので難しい部分もあると思う。
28	多世代交流による繋がりという点、他の団体とも交流していくイメージ。そうした交流ではなく、自分たちの活動範囲内で、団体のメンバーを増やすことにより、人との繋がりを深めていくという方法もあるのではないか。
29	ゆうゆう館はクツを脱いであがるのに違和感がある。この施設は土足のまま利用できるが、清掃も行き届いていて好印象だ。
30	講座やイベントについては興味のあるものがあれば参加したいと思っているが、情報が入ってこない。ホームページなども含めて、情報にアクセスできる方法を増やしてほしい。
2 コミュニティふらっとの現状と課題について	
1	この施設は使い勝手が良い。身近なところに活動できる場所があってよい。
2	アクセスもよく、活動団体としてはありがたく思っているが、他の区と比べると設備面、使用料の面で劣っていると思う。杉並区も他の区の水準になるとありがたい。
3	コミュニティふらっとには茶室がないのが残念である。
4	コミュニティふらっとの防災面が気になる。
5	ティーンズタイムなどの中高生向けの取組については知らなかった。良い取組なので、わかりやすい資料を作成して周知に力を入れると良いのではないか。
6	若い人たちがラウンジで勉強している姿を見られるのは良いことである。このような施設がもっとできると良い。
7	中高生も含め、他の世代と交流ができるのは願ってもいないことである。団体が活動している部屋の外にチラシを貼ったり、活動を見学してもらったり、新たな人たちと交流が生まれるような仕組みを是非つくってほしい。自分たちの活動を若い人たちに継承してほしい。
8	ラウンジにカウンターがあることで、中高生が入りやすく、過ごしやすい。
9	集会室の換気が悪い。ラウンジに音が漏れるといけなくて、ドアも開けられない。
10	Wi-fiの電波が届きづらい。コピー機にも飛ばせると良い。
11	設備が多世代に対応していない。小さな子供用の机や椅子があればもっと利用が増えるのではないか。
12	中高生の居場所づくり（ティーンズタイム）については周知不足ではないか。実際あまり目にしたことは無いが、良い取組みであると思う。
13	ラウンジのテーブルに「中高生専用」との表示があるため、テーブルや席が空いていても使いづらいと感じていた。時間で区切られていることは知らなかった。
14	カウンターは個人での利用が主で、多世代交流の妨げとなっていると感じる。町中にあるカフェと同じような使われ方がされている印象のため、コミュニティふらっとでしかできないことをするべきではないか。
15	開設当初は利用可能であった第4集会室での利用種目（楽器演奏（大）・合唱）が途中で利用できなくなった。設計に問題があったのであれば、それを改善し利用できるようにするのが筋ではないか。
16	音を出す活動はどこへ行っても断られることが多く、場所探しに苦労している。もう少し気軽に活動できるように活動可能な場所を増やして欲しい。

17	多世代交流を目指すのであれば、ラウンジにいる人に各集会室で活動している団体の紹介をしたり、見学を勧めるなど職員の働きかけが必要ではないか。ただ、活動しているだけでは交流は生まれない。
18	いくら建物自体を良くしても、職員の対応に問題があると利用したくなくなる。利用者目線の対応をして欲しい。
19	図書館との併設は良いと思う。図書館に行けば何かあるし、時間も有効活用できるという気持ちで行くことが多い。
20	3階のラウンジについては、図書館の雰囲気引っ張られて、静かにしなくてはいけない雰囲気だ。ラウンジが、利用者同士の交流の場として機能しているようには思えない。
21	ラウンジに小さめの音量で音楽をかけてみれば雰囲気が良くなるのではないか。
22	ティーンズタイムについては、時間も区切られているので良いと思う。若い人たちが頑張っている姿を見るとこちらも元気をもらえる。
23	予約が入らずに空き部屋となっている部屋を有効活用できないか。
24	コミュニティふらっとを「身近な地域」のための施設とするのも良いが、コミュニティふらっと同士の横の交流があっても良いと思う。施設や事業者ごとに強みあると思うので「あっちのコミュニティふらっとに行けば〇〇ができる」などの案内があれば利用者も選択肢が広がる。
25	集会室のイスの運搬が大変。積みあがっているイスを降ろす作業が高齢者にとっては大変だ。

会議名：浜田山会館利用者意見交換会

開催日時：令和5年7月4日 午後2時30分～午後4時

場所：浜田山会館 ホール

出席者：施設利用者26名

	意見
1	区民会館、区民集会所、ゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編について
1	老朽化した高井戸東保育園の建て替えが必要なことは理解しているが、浜田山会館はそれほど老朽化していない。その中で計画を進めるといふ点は納得がいかない。
2	施設の使用状況を区はよく見ているのか。それを踏まえ、今後の計画についてどのように考えるのか。
3	コミュニティふらっとになると料理など色々な活動ができるようになり、使いやすくなるかもしれないが、コミュニティふらっとになることにより、ケア24が高井戸の地域に移転してしまうのは納得がいかない。
4	建て替え後の高井戸東保育園にケア24を併設できないとのことだが、その理由が分からない。保育の定員を確保するため、とのことだが、併設すると具体的に何人の待機児童がでるのか。保育園は既に定員割れを起こしているという話も聞く。定員を減らすことはできないのか。
5	浜田山会館にあるケア24は、浜田山地域のエリアの中心にあり、高齢者が行きやすい。遠い場所に移転するのは困る。高井戸東保育園の場所に移転するのであれば、少し位置的にずれてはしまうが、高井戸の地域に移転するよりはよい。
6	浜田山は家賃も高いので、ケア24の移転先は簡単には見つからないと思う。
7	コミュニティふらっとは、委託する事業者が違ふことによって、施設毎に「色」が変わってしまうのではないか。
8	浜田山会館もケア24もゆうゆう高井戸東館も、すべて今のままでよい。変える必要性を感じない。
9	ゆうゆう浜田山館が廃止になって、ゆうゆう高井戸東館に移動した利用者もいる。ゆうゆう高井戸東館までなくなるのでは、その利用者たちがかわいそうである。
10	コミュニティふらっとのコンセプトである「多世代の交流」は地域区民センターでもすでにできていると思う。
11	コミュニティふらっと永福は中高生にも利用されており、多世代の交流ができているように見えるが、その他のコミュニティふらっとはどうか。そもそも若い世代に利用されているのか。需要はあるのか。
12	保育室浜田山東の跡地は今後どうする予定なのか。良い土地なので活用されないのはもったいない。そこにゆうゆう館を新設すればよいのではないか。
13	再編整備計画は施設を減らす計画だと思っていたが、増えているのはなぜなのか。
14	コミュニティふらっとが具体的にどのように運用されるのか、区民はイメージできていない。
15	今後30~40カ所のコミュニティふらっとができると、区内で自主運営事業がたくさん実施されるようになるが、そこまでの需要があるのか。分散されて、人が集まらなくなってしまうのではないか。
16	地域が異なるため、コミュニティふらっと成田の事例は浜田山には当てはまらない。
17	ホールは利用率が高いので、自主運営事業でたくさん使われてしまうと、予約がとりにくくなってしまふ。年に2回のイベントで埋まってしまうのも、利用者にとっては困る。
18	保育園と高齢者施設が同じ場所にあるのは良いことである。保育園の定員を減らして、併設にしてもよいのではないか。

19	老朽化などタイムリミットがあることについては、どこかで結論を出さなければいけない。すべての人が満足するのは難しい。そんな中でも、地域の声を聴きながら、最善の方法を考える必要がある。
20	コミュニティふらっとがどのような施設なのかよく分からない。現在区内に5か所あるとのことだがうまくいっているのか。
21	ゆうゆう阿佐谷館がコミュニティふらっと阿佐谷になった。手続き面での変更はあったが、利用者として変わった感じはしていない。
22	新しい施設に変わったことで、部屋が使いづらくなった施設がある。利用者のニーズをくみ取って設計をして欲しい。
23	再編するという事は、施設の数が減るということ。数が減ると今までより遠くまで行かなければならいので不便に思う。
24	集会施設、ゆうゆう館、児童館等それぞれ施設の役割・機能が違うので、一緒の施設にするのには無理があるのではないかと。
25	稼働率が50%の施設を単純に1つに統合しても使いたい場所、時間が集中し、競争となってしまう。結局は使いづらくなるだけではないかと。
26	区内で音を出すことができる部屋は少なく、場所探しに苦労している。音が出せる施設を残して欲しい。
27	100人規模の人が入れる空間は貴重。ホールは必要。
28	多世代交流とは聞こえは良いが、それぞれのニーズは異なっているのでかえって使いづらくなる。
29	イベントや講座の開催がコミュニティふらっとの特徴だが、所詮一過性のもの。イベントがたくさんあっても、施設そのものが使いづらければ人は集まってこない。
30	ハード面とソフト面は別々に考えた方がよい。
31	ゆうゆう館利用者のための高齢者団体優先枠は、団体要件等の周知が不足している。
32	多世代交流は理想であるが、実際は高齢者と子育て世代のギャップがあると考えられる。そのためには、サロン、カフェ等スマートで明るい仕掛けづくりが必要である。
33	部屋が狭く閉鎖的では、活動の内容が分かりづらく参加しにくい。区民センターの創作室や調理室のように外からも見えることが大切である。
34	高齢者は遠くの施設に行くことは大変なので、施設の予約は抽選でなく申し込み順にして欲しい。高齢者団体優先枠も1団体当たり月8枠だとゆうゆう館での活動量を確保できないと思うので枠の確保を希望する。
35	区民集会施設の稼働率は50%程度と言われているが、利用種目や部屋によっては予約しづらい状況である。
36	高齢者が使いやすい施設が必要である。一方、現状子育て世代や小中学生の居場所が不足している。
37	高齢者は移動をサポートするために、隣の武蔵野市のようにコミュニティバスを充実して欲しい。
38	そもそも多世代交流は必要だろうか。ゆうゆう館の再編により高齢者のコミュニティの場をなくすのはどうかと思う。
39	多世代交流のイベントを行うには、広い場所と回数を多くすることが有効的である。
40	施設の運営形態は特定の人を声を反映するものでなく、ガイドラインを区で示し客観性があるものとして欲しい。
41	現状の浜田山会館の部屋・値段・予約の取りやすさに満足しているので、現状維持を希望する。
42	施設の改修や建て替えにより、活動できなくなる期間が出るのは困る。
43	防災上の観点はわからないが、利用者の意見として言わせてもらえば浜田山会館は現状でまだまだ使える。ゆうゆう館や保育園が築50年を超えているので対策が必要というのはわかるが、浜田山会館が危ないというわけではない。
44	再編整備によって施設を使えなくなる期間が出るのか不安、また使用料も変わるのか。

45	再編の取組については今日の資料で初めて知った。
46	ゆうゆう館の利用者も浜田山会館に移行してくるのなら、部屋を増やしたり、部屋の大きさをコンパクトにする等、多くの人たちが利用できるように対応して欲しい。
47	コロナの時は大きめの部屋が必要だったので、浜田山会館の部屋の大きさが助かった面もある。
48	予約が取りにくくなるのは嫌だ。
49	Wi-Fiを導入して欲しい。
50	コミュニティふらっととゆうゆう館の違いは何か。
51	再編整備計画は、区がコミュニティふらっとに機能継承していくというのが主体だと思われるが、説明がわかりづらい。客観的なデータに基づく説明や、再編後のソフト面の説明、例えば予約の取り方やお金の払い方などといった情報も提供した上で説明して欲しい。
52	パブリックコメントでは多くの意見が出ていたが、このように顔を合わせて直接に意見を言い合う場を設けるのも良いと思う。
53	高齢者団体優先枠が導入されると、既存の団体が排除されるのではないか。そのような既存利用者へのデメリットもきちんと示してほしい。
54	他の利用団体と発表会のような場で交流するのは構わない。
55	施設内は少し殺風景なので、団体の展示や発表などがあっても良い。
56	外部の人にとっては、施設に来る機会もなければ情報もなく、用事がなければ来るとも無いと思う。その結果、入りづらい空気になっているように思う。
2 浜田山会館について	
1	浜田山会館では、ホールが一番人気である。自治会のイベントや、ピアノの発表会をするのに丁度よい大きさが使いやすい。なくなってしまうのは困る。
2	浜田山会館自体はそこまで老朽化していないが、防災の方を優先しつつ、水回りなどの設備は古いので修繕してほしい。
3	入口に段差があるのは、高齢者、車いすの人にとっては不便で危険なため直してほしい。
4	プロジェクターなど貸出備品を新しくしてほしい。
5	ホール利用時、音響や照明は係の方に操作してもらっている。それ程複雑なものではないが、アドバイスをもらうことができるのでありがたい。
6	ホールの音響・照明等老朽化が進んでいるが、改修時にすべてを新しくする必要はない。使える設備は有効に使って欲しい。
7	舞台の昇降装置、舞台袖の控室、外と直結しているホール出入口からの荷物搬入等 ホールの使い勝手が良い。
8	おむつ替えシートを設置して欲しい。
9	施設設備の老朽化が進んでいて、故障したままとなっている箇所がある。修理をして欲しい。
10	ホールは是非とも残して欲しい。
11	水道が使える部屋を便利に利用しているので残して欲しい。
12	集会室で音が出る活動ができなくなった。防音サッシの取付けなどの対応をして欲しい。
13	和室は靴の着脱や座り方等で利用を敬遠されがちではあるが、小さい子どもがいる方にとっては使いやすいのではないかと。
14	ホールのキャンセルに対する利用制限が、他の集会室と同様、1週間前からしかかからないが、1週間前にホールが空いても使えない。ホールについては、キャンセルに対する利用制限をもう少し厳しくしてもらいたい。
15	多世代交流のイメージを具体的にすることが必要である。
16	ホールは残して欲しい。区内でホールがある施設は少ないのでもっと数を増やして欲しい。
17	ホールの設備（昇降できる舞台、天井の高さ、音響等）は少なくとも現状維持を希望する。照明はもっと充実して欲しい。
18	ホールはオーケストラやコーラスも使っており、団体も多世代で構成されているので交流の場になっている。

19	50人位で使用できる広い部屋を作って欲しい。
20	浜田山会館は住宅地にありホール以外大きな音を出せないのので防音設備を備えた部屋を作って欲しい。
21	和室は貴重な畳がある部屋なので、ベビーマッサージ等子育て世代も利用できるよう多目的に使えるようにして欲しい。調乳ができるような設備やベビーカー置場も用意して欲しい。
22	多目的トイレが少ないので、少なくともワンフロアに1か所ベビーベッドがあるものを設置して欲しい。
23	中高生が運動できる場所を確保して欲しい。
24	高齢者は活動に必要な大きな物品を運ぶことは大変なので、施設で預かれるようにして欲しい。
25	ホールについては、児童館、手話クラブ、日本舞踊などの活動で使ったことがある。
26	ゆうゆう館はかなり予約が多いと聞くと、浜田山会館利用者と一緒にすることで倍率が上がらないか心配だ。
27	区の広報誌でイベントの告知などを行っているが、施設で活動している団体の紹介はできないのか。情報を区に渡して、拡散してもらえ取組があるといい。
28	ホールの照明や音響は、あくまで趣味としての発表会のレベルで使用している。
29	ホールの舞台後方に看板を掲げられるが、看板の上げ下ろしをするには、ハシゴを上ってから手で巻き取る必要があり、高齢者には負担のある作業だ。
30	和式のトイレが多く、かなり古い。
31	エレベーターがあるのは助かる。
32	歌の活動をしているので第3集会室の防音機能はありがたい。
33	駐輪場が広くて良い。
34	受付の職員の雰囲気も良く、様々な要望にも柔軟な対応をしてもらっている。今後も変わって欲しくない。
35	備品や設備、施設の使い方等について、悩みがあったり故障の相談をしたい場合は、どんなルートで誰に最初の相談をすればいいのかわからない。相談した内容がどのように取り扱われていくかのフロー図のようなものがあると良い。